

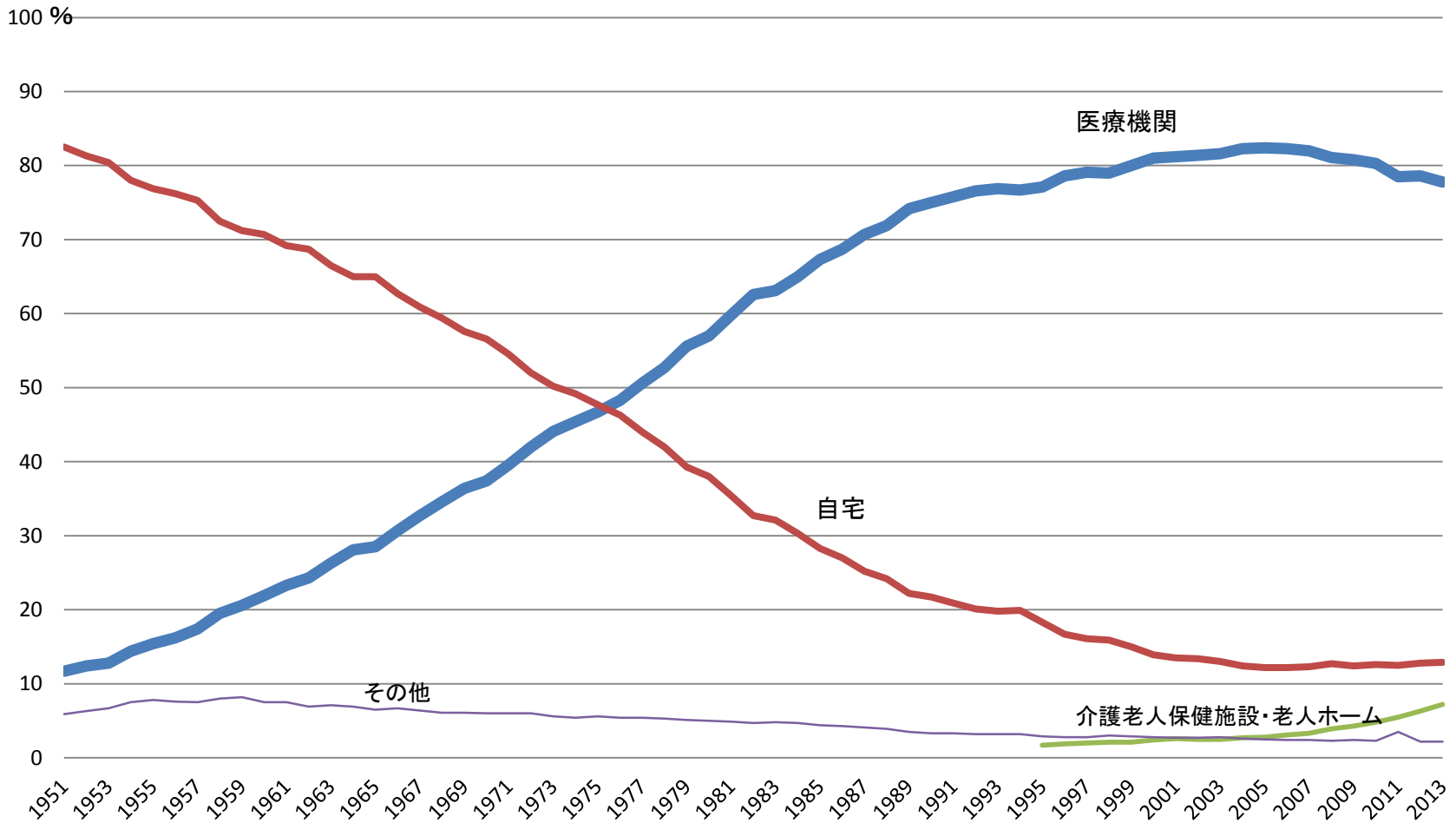
# 関連資料①

- |   |                |       |   |
|---|----------------|-------|---|
| 1 | 人生の最終段階のケアについて | ..... | 2 |
| 2 | 介護ロボットの活用について  | ..... | 5 |

# 1 人生の最終段階のケアについて

# 死亡場所の推移

日本人の死亡場所は、自宅が減少し医療機関の割合が伸びる傾向が続いた結果、近年では約8割が医療機関で死亡している。



注：老人ホームとは、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいう。  
1994年までは介護老人保健施設及び老人ホームでの死亡は、自宅又はその他に含まれている。

出典：「人口動態統計」(厚生労働省大臣官房統計情報部)

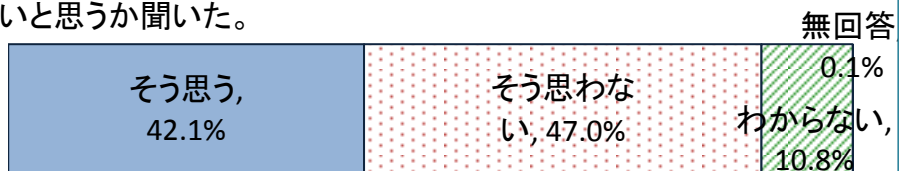
# 在宅療養に関する都民の意識

都民の約42%が長期療養の必要がある場合に在宅での療養を続けたいと思っているが、そのうちの約60%は実現は難しいと回答している。

その理由として、家族に負担をかけることや急に病状が変わったときの対応への不安等が挙げられている。

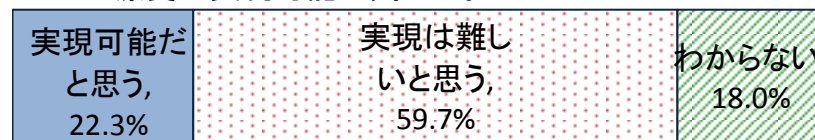
## ①在宅療養希望の有無

長期の療養が必要になった場合、理想として自宅で療養を続けたいと思うか聞いた。



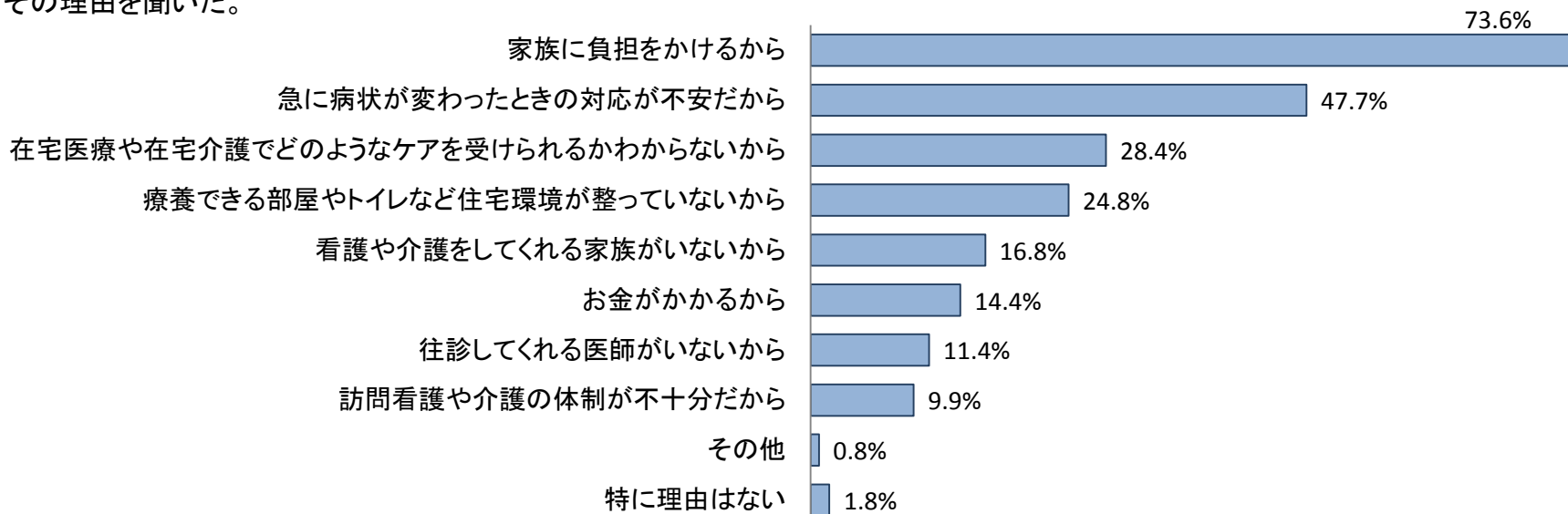
## ②在宅療養の実現性

①で「理想として自宅で療養を続けたい」と答えた人に、自宅での療養が実現可能か聞いた。



## ③在宅療養の実現は難しいと思う理由

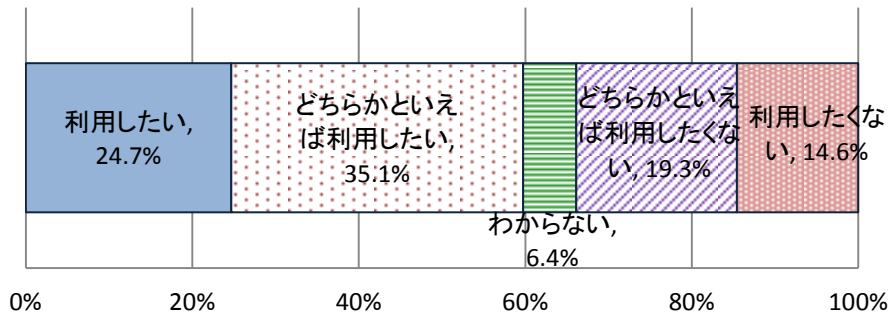
①で「理想として自宅で療養を続けたいと思わない」と答えた人、および②で在宅療養の「実現は難しいと思う」と答えた人に、その理由を聞いた。



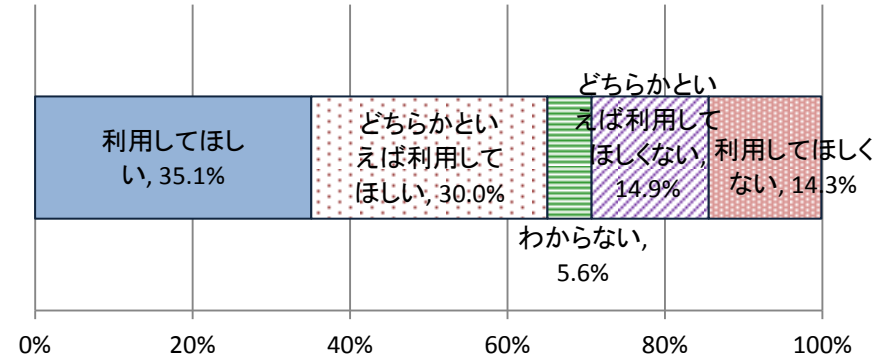
## 2 介護ロボットの活用について

# 介護ロボットに関する意識(住民)

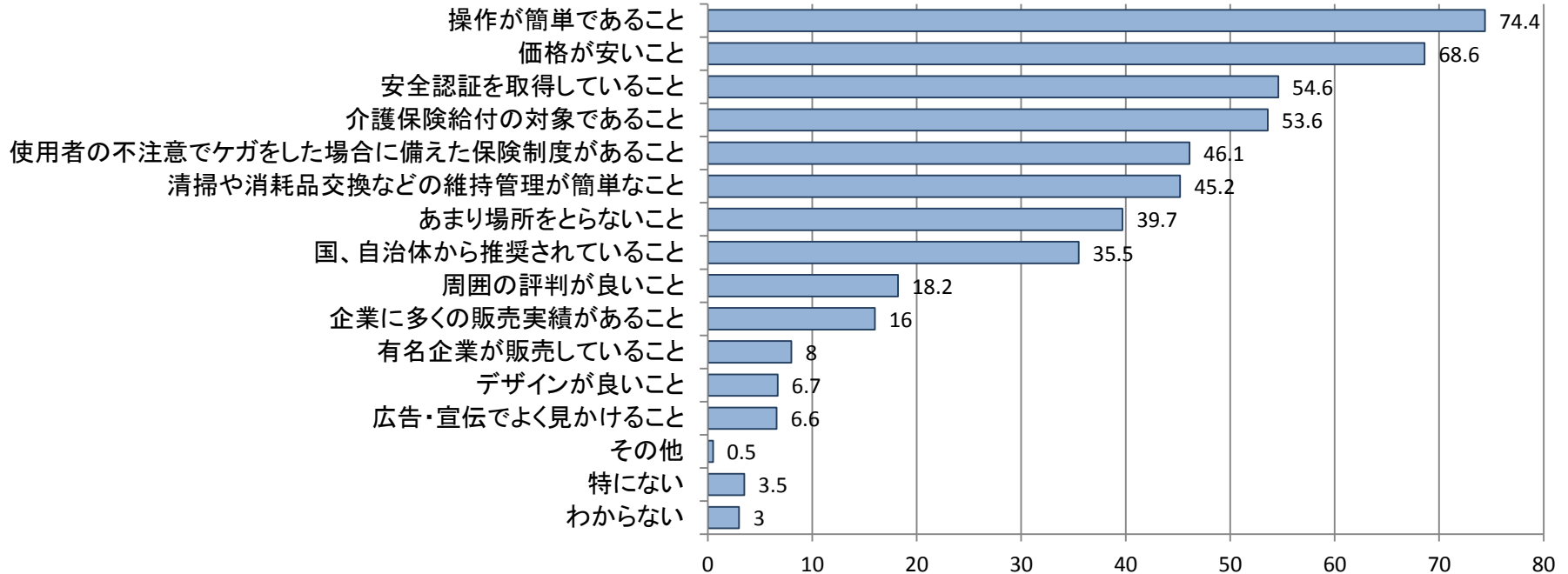
## ①介護をする際の介護ロボット利用意向



## ②介護を受ける際の介護ロボット利用意向



## ③介護ロボットを選ぶ際の重視点(複数回答)



# 介護ロボットに係る意識(事業者)

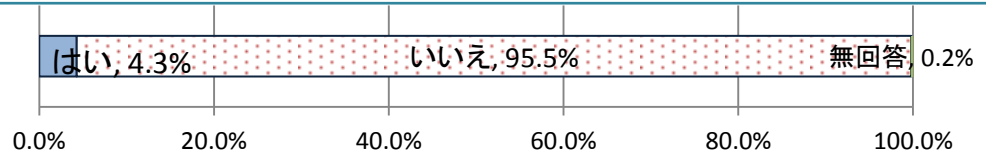
出典: 神奈川県介護ロボット普及推進研究会「平成24年度・25年度介護ロボット普及推進事業報告書」より、介護ロボットに関する意識調査票集計結果 抜粋

〔※対象者 : 神奈川県内の全介護事業所の管理者及び介護職員  
※実施機関: 平成25年10月〕

## 1 介護ロボットの導入状況と期待ニーズについて

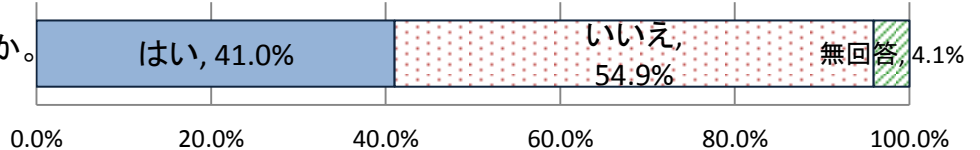
### ア 導入の現状

①「介護ロボット」を導入していますか。

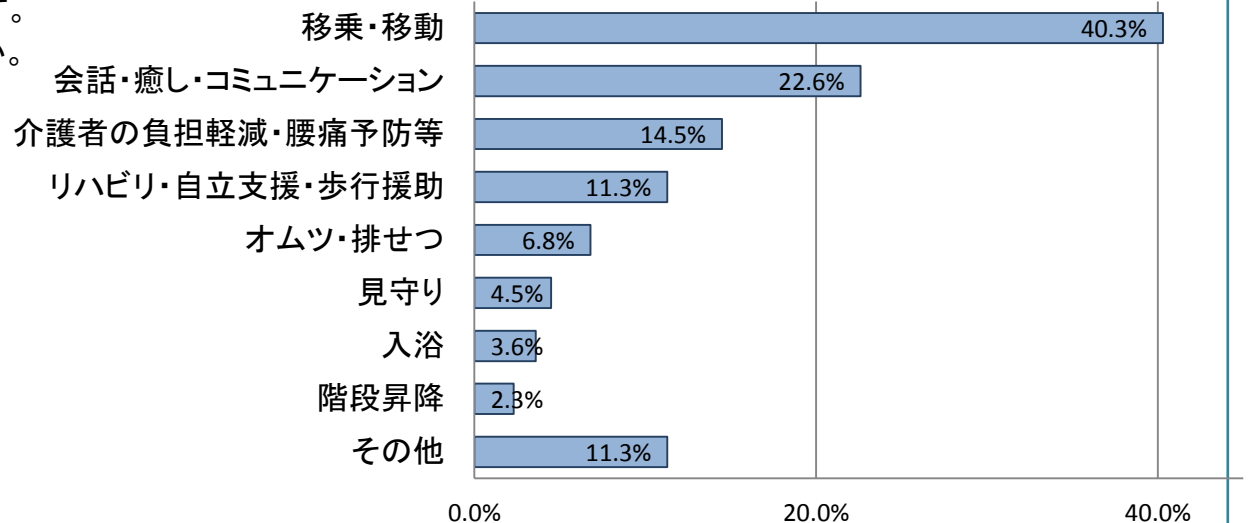


### イ 導入意向

② ①でいいえと答えた人にお聞きします。  
今後、「介護ロボット」を導入したいと思いますか。

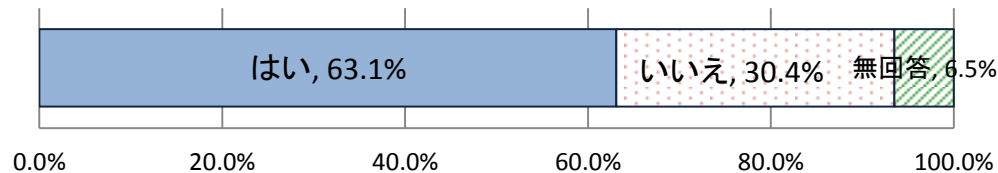


③ ②ではいと答えた方にお聞きします。  
どのような「機能」を導入したいですか。

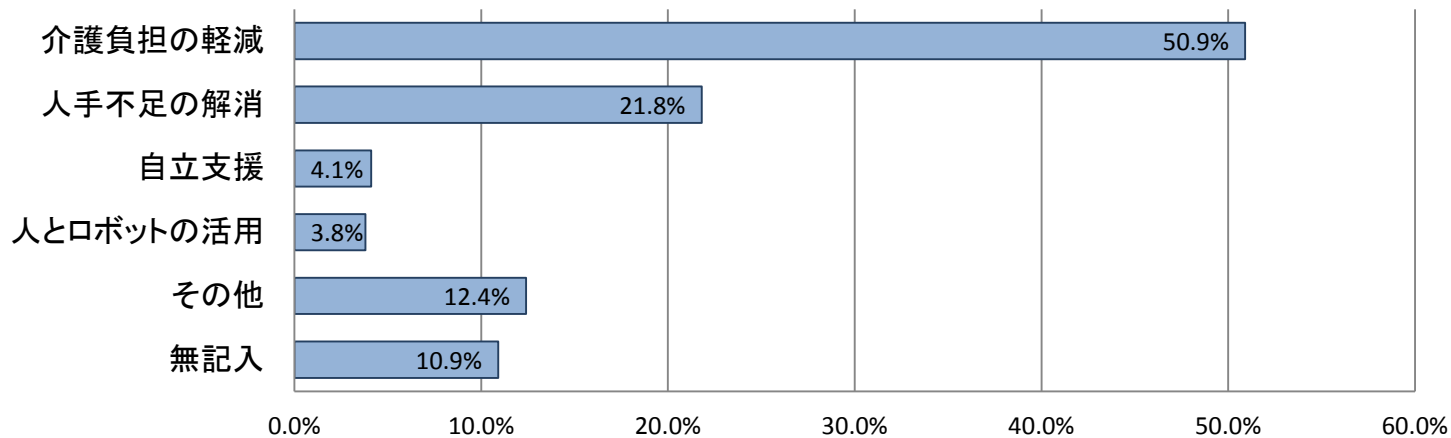


## ウ 導入の必要性

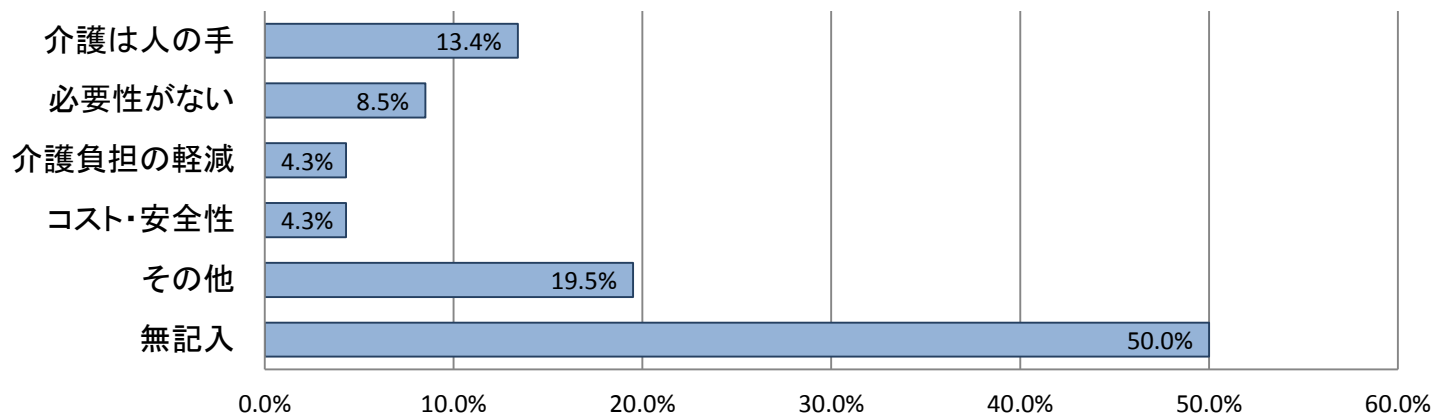
④ 今後、「介護ロボット」の導入は必要だと思いますか。



⑤ ④ではいと答えた人の必要だと思う理由



⑥ ④でいいえと答えた人の必要だと思わない理由



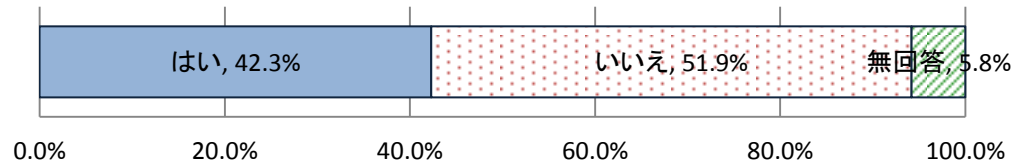


## 2 介護ロボットに対する認識について

### エ 認識のギャップ

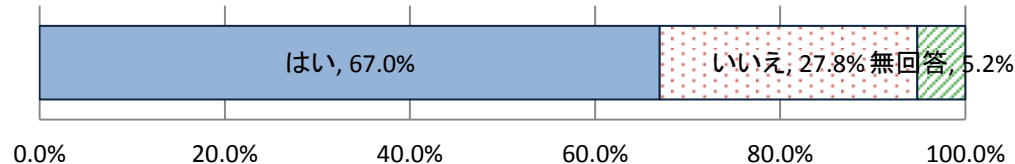
⑦ 「介護ロボット一覧」(\*)をご覧になって資料提示前と認識ギャップはありますか。

(※調査票に67の介護ロボット一覧が添付されていた。)



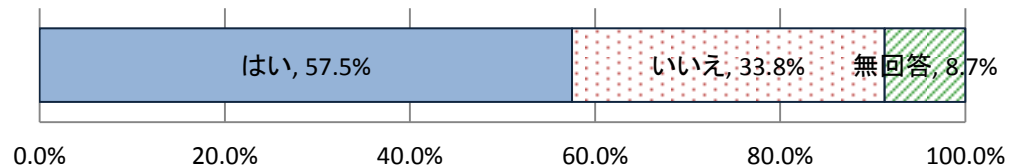
### オ 介護負担の軽減

⑧ 「介護ロボット」の活用によって、介護労働の負担は軽減すると思いますか。



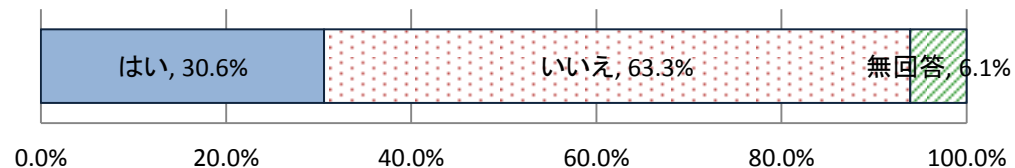
### カ 自立支援

⑨ 「介護ロボット」の活用によって、利用者(被介護者)の自立支援に役立つと思いますか。



### キ 人手不足の解消

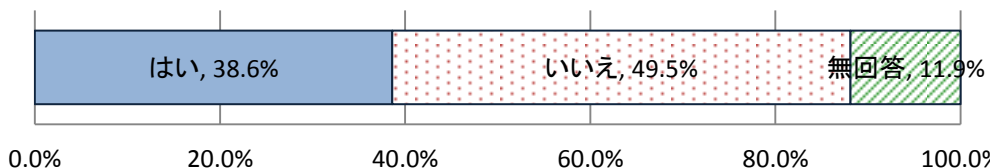
⑩ 「介護ロボット」の活用によって、人手不足は解消できると思いますか。



## 3 安全性について

### ク 安全性

⑪ 現在、販売またはレンタルされている「介護ロボット」は安全だと感じますか。



## 4 介護ロボットの普及に向けた課題と対応について

### ケ 普及の課題

⑫ 今後、ロボットを普及していくためには、特にどのような対策が必要(あるいは有効)だと思いますか。(選択式・複数選択可)

